

東和46年のあゆみ

東和町は、昭和30年の4方村合併以来、46周年を迎えました。
 この46年、町ではどんな出来事がおこり、町の人々はどんな生活をしていたのでしよう。懐かしい匂いのするアルバムをそつと開き、町のあゆみを振り返ってみました。



昭和30年

1月1日、針道・木幡・太田・戸沢の4カ村が合併して東和町が誕生。同年11月に役場庁舎が誕生しました。以後、平成3年12月31日まで、執務が行われました。



昭和35年

4月1日、町制施行により東和町となり、当時の針道小学校講堂で式典が行われました。



昭和30年代

農作業のひと休み「こじはん」。



昭和30年代

アウトドア「宴会」の様子。その当時としては珍しいビールを飲みながら、手拍子で歌を。



昭和30年代

「木幡の幡祭り」の権立ち。

東和町の沿革

- 明治元 二本松城没落、民政取締を三春城主へ移す。
- 明治2 年次に相馬中村城に移る。
- 明治6 福島県が置かれ県の管轄に移る。
- 明治7 郵便事業の開始、郵便取扱所を開設。
- 明治12 郡区町村編制法実施により針道、太田に戸長役場を設ける。
- 消防組の組織結成。
- 明治13 木幡村より布一、布二、深田、布四部落が境界変更により太田村に編入。
- 明治18 郵便局による貯金事務を開始。
- 明治20 巡查派出所を設置。
- 明治22 北戸沢村と南戸沢村が合併し戸沢村に、内木幡村と外木幡村が合併し木幡村に、下太田村と上太田村が合併し太田村になる。
- 明治26 針道に生糸市場を開設。
- 明治29 針道大火災148戸焼失。
- 明治29 小包郵便の開始。
- 明治41 県下で3番目に針道字町部落に電灯が入る。
- 明治42 針道大火災103戸焼失。
- 大正元 馬市場が山木屋から針道に移転。
- 大正8 小浜美業銀行針道支店開店。
- 大正11 二本松、針道間の電話開通。
- 大正14 二本松、太田若宮間乗合自動車運行。
- 昭和5 福島県穀物検査所出張所が設置される。
- 昭和22 地方自治法が公布され、初めての公選による村長を選ぶ。
- 昭和23 安達高校針道分校設置開校。
- 農業改良指導所を設置。
- 昭和27 太田村から竹ノ内部落が木幡村に編入。
- 川俣、針道間乗合自動車運行。
- 二本松信用金庫針道出張所開設。
- 昭和29 福島、船引間乗合自動車運行。
- 昭和30 針道、木幡、太田、戸沢4カ村が合併し東和村となる。(1月1日)
- 合併により太田村の一部が若代町に編入。東和村役場新築。
- 昭和33 テレビ受信機第1号入る。
- 昭和34 農村地域団体加入組合電話開設。
- 昭和35 町制施行により東和町となる。(4月1日)。